大阪スポーツ
第3種郵便物認可

人材採用事業会社「ザメディアジョン」山近義幸社長

私塾「日本ベンチャー大学」設立の狙い

脱草食系へ 学べ人間学

「学生にはもっと行動力を身につけてほしい」と日本ベンチャー大学を立ち上げたザメディアジョン・山近義幸社長

日本ベンチャー大学の講義は教室内だけではない。神社などの歴史名所をはじめ様々な場所で実地講義が行われる（右手前が山近社長）

ユニーク企業アイデアのミナモト

「最近の若者には何かが足りない」とはよく聞くが、その足りない何かを学生に見つけてもらおうと、大学生や大学院生を対象に独自の教育を行っている〝私塾〟がある。それが「日本ベンチャー大学」だ。どんな学生を輩出しようとしているのか？ 日本ベンチャー大学を運営する人材採用事業会社「ザメディアジョン」の山近義幸社長（51）に話を聞いた。

詰め込み教育に疑問

――日本ベンチャー大学をつくった目的は

山近社長 最大のきっかけは現在の日本の詰め込み教育に疑問があったからです。これは長年、日本が抱える教育の問題点で、例えば小学校から高校、大学まで、座学で数学の公式やら何やら、無機質なことばかり学びます。私はこの結果、草食系といわれる男子が増えたのではないかと考えているんです。実際、私のかばん持ちに志願する学生を見ても男子学生は本当に少ない。自ら何か行動を起こそうとする力に欠けていると思うんですよ。だから、私は学生に人や歴史と触れ合いながら、人間学を学んでほしいと思ったんです。

――具体的にどのようなカリキュラムを組んでいる

山近社長 例えば著名なコメンテーターや国会議員、ベンチャー経営者など、様々な方に講演していただいたり、教室から飛び出して歴史博物館などに行って実地教育も行っています。実地教育の最たる例を挙げれば、夏の京都に数千円だけを持たせて1週間サバイバルさせたり、冬の卒業シーズンには青森から鹿児島まで青春18きっぷだけを渡して、鈍行列車で旅をさせたりします。夏の京都で数千円ではホテルにも泊まれないので、短期のアルバイトを探したり、大食いチャレンジの店で食費を浮かせたり、はたまた無一文でも掃除を手伝うなどしてホテルに泊まれるよう交渉したり、生き抜くために様々な知恵を絞るでしょう。もちろん、安全面を考慮して密な連絡は取りますが、何をするかは学生本人に委ねられるので、自然と行動力が身につくはずです。

危機越える行動力を

――日本の若者には行動力が足りない

山近社長 そうですね。だから、究極のピンチに遭遇したとしても、地べたに這いつくばってでも乗り越えようとする行動力を身につけてほしいですね。毎年きつくて辞めていく学生もいるんですが、それでも卒業する学生の中から、少しでも現在の日本の教育システムの負の部分から脱却した人間が育ってくれればと思っています。

――ところでベンチャー大学のシステムは

山近社長 4月入学の1年制で、テキストや実地教育での費用は別ですが、学費に関しては無料でやらせていただいています。運営費は毎月3万円の12か月と、年の12か月という個人のほか6府県で開講し、来年も新たに2定で、現在の学生は1です。基本的に東京日間カリキュラムを方校では週1日で運ます。日本ベンチ親のすねをかじらのが一つの決まりで必ずアルバイトを稼いでいますよ。

――学生に人間学行動力をつけてほことですが、自分時代を振り返ると

山近社長 私自分ると、私は学歴コスで、有名大学にという学歴が欲しいす。でも、卒業で という肩書が欲しよ。何か格好いれで入学式以来、いなかったら除籍ちゃって（笑い）。歴になっても除籍らないので焦りま も、私は高校時代ま ま詰め込み教育 ても意味がないと バイトに励み、高で300万円の預 ていたんです。太 てからも同じで、 たときには結構な いました。何とか 業組に勝つには、 で人間として成長 るしかないなと。 のときに起業した

――自らの経験 チャー大学の根底

山近社長 そう 学除籍というピン 行動で乗り切った を学生たちに少し もらえたらと思っ